

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Utility of follow-up tests for detecting recurrent disease in patients with malignant melanomas.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ24-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	7474276	
	医中誌 ID		
	雑誌名	JAMA : the journal of the American Medical Association	
	雑誌 ID		
	巻	274	
	号	21	
	ページ	1703-5	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995 Dec	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Weiss M	Mayo Clinic
	その他著者 1	Loprinzi CL	同上
	その他著者 2	Creagan ET	同上
	その他著者 3	Dalton RJ	同上
	その他著者 4	Novotny P	同上
	その他著者 5	O'Fallon JR	同上
	その他著者 6		

	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の8項目	目的	再発を発見するために行うフォローアップ検査の有用性を評価する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Mayo Clinic	
	対象者	他の randomized trial にエントリーした 261 人のデータを retrospective に集めた 全員原発を切除し厚さは 1.69mm以上、所属リンパ節郭清を行ったものも含む	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	他の randomized trial のプロトコールに沿った診察、検査スケジュール：2ヶ月目まで1ヵ月ごと、その後1年目まで2ヵ月ごと、その後2年目まで4ヵ月ごと、その後3年目まで6ヵ月ごと、以後1年ごとに受診し、受診の際に問診、触診、血算、生化学、胸部レントゲン撮影を行った。	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	再発 (retrospective に設定)	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
6		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
7		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	261 人中 161 人が再発し評価対象者は 145 人。そのうち 68%は患者自身が気づき、26%は無症候であったが受診時に発見され、定期検査によって発見されたのは 6%。検査で発見された全員が胸部レントゲン異常で、再発発見時に LDH 上昇をきたした症例が 11%あったが、LDH 上昇単独で再発が見つかった症例はない。 再発部位：所属リンパ節 45%、皮膚 22% 再発時期：1年目 69%、2年目 19%		

	結論	再発検出のプロトコールとしては、受診回数は減らさず、血液検査と胸部レントゲン撮影は1年に1回とすることとした。
	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	古賀弘志
	レビュワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 多数例で検討された貴重なデータ